



2024年3月期 決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード : 6545>



2024年3月期 通期業績

レコードブック事業

- ✓ 利用者数と店舗数の増加に伴い、直営店の売上高及びフランチャイズ加盟店からのロイヤルティ収入は前期比で順調に増加
- ✓ FC店について、新規契約の申込は増加傾向に転じるも、物件選定までの期間が当初想定より長引いており前期比で開業数が減少。物件開発体制を強化し、物件選定の早期化を目指す

Webソリューション事業

- ✓ 営業活動の強化により、前期比で売上高、営業利益ともに大幅に増加

アクティブライフ事業（従来のケアサプライ事業より名称を変更）

- ✓ 既存の福祉用具貸与事業（カンイ舎、フルケア）は堅調に推移
- ✓ 2022年10月より開始した住宅リフォーム事業（正光技建）の影響で全体の売上高は増加
- ✓ 同事業で課題となっている受注増加、収入源多角化に向けた各種施策を実施し、直近の売上高は増加傾向に。更に資源価格高騰による原価率上昇の改善策を推進し、利益率向上を目指す

全体に関わる事項

- ✓ 前期実施した2件のM&A関連費用の負担が当期はなかったため、前期比で大きく利益が増加

2025年3月期 通期業績見通し

- ✓ レコードブック事業、在宅サービス事業、アクティブライフ事業で利用者数等は順調に増加し、増益の見込み
- ✓ 収益力の更なる強化により、各段階利益は二期連続の二桁増益見込み
営業利益は過去最高の3億円超へ

	当期比
売上高	2.9%
営業利益	54.5%
経常利益	29.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	56.6%

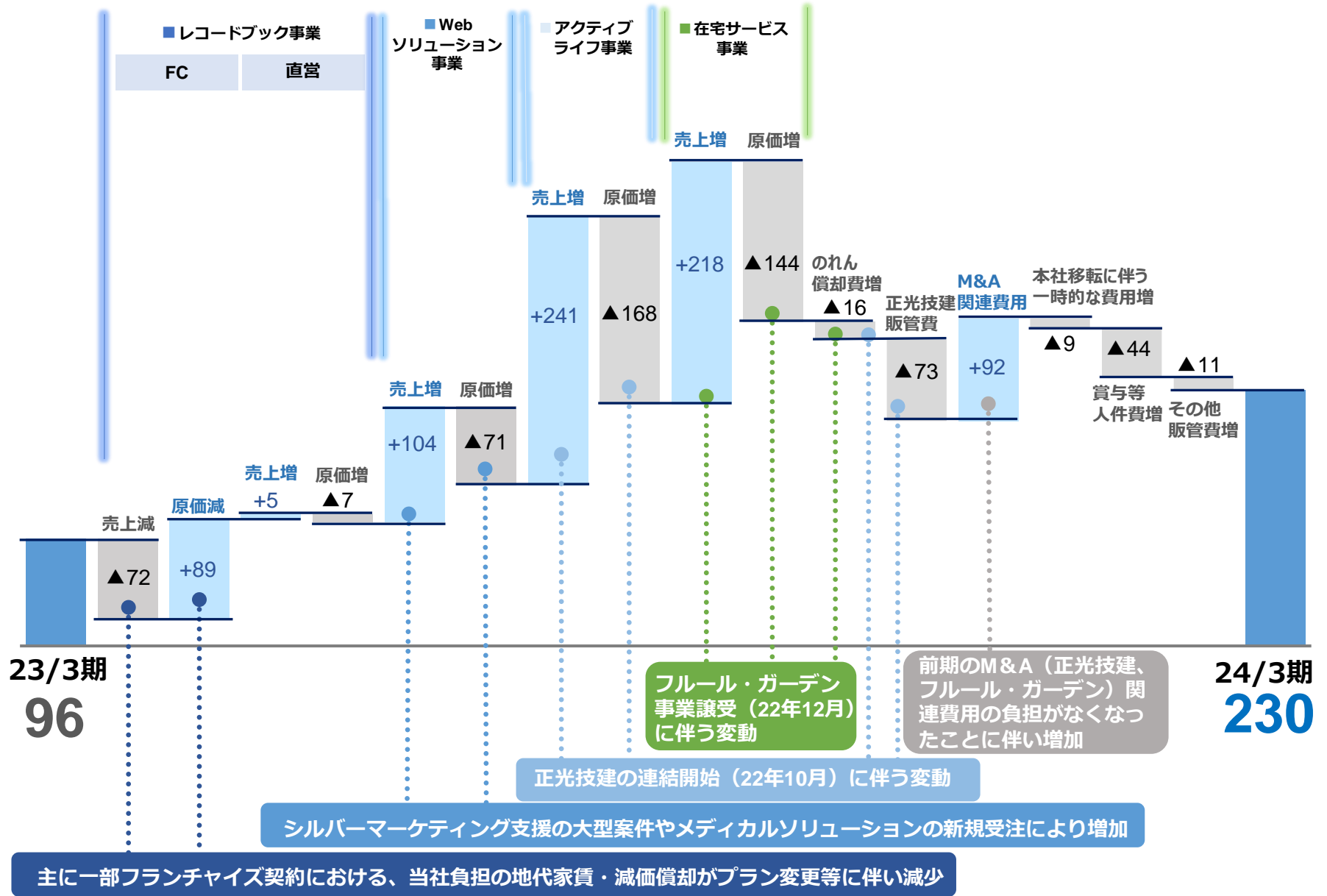
2024年3月期 通期業績

単位：百万円 ()内は利益率	2023/3期 実績 ※	2024/3期 実績	増減率	主な増減理由
売上高	4,464	4,959	+11.1%	アクティブライフ+240、在宅サービス+217、Web+103、レコードブック▲66
営業利益	96 (2.2%)	230 (4.6%)	+139.7%	本社+73、在宅サービス+57、Web+41、レコードブック+3、アクティブライフ▲44
経常利益	146 (3.3%)	271 (5.5%)	+85.2%	【営業外収益の主な増減理由】 事業譲渡益+23 助成金収入▲22
親会社株主に帰属する 当期純利益	33 (0.8%)	130 (2.6%)	+286.0%	【特別損失の主な増減理由】 本社移転費用▲18 減損損失+42
R O E (%)	2.7	9.8		
E P S (円)	6	24		

※ 2024年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております

営業利益増減分析

単位：百万円

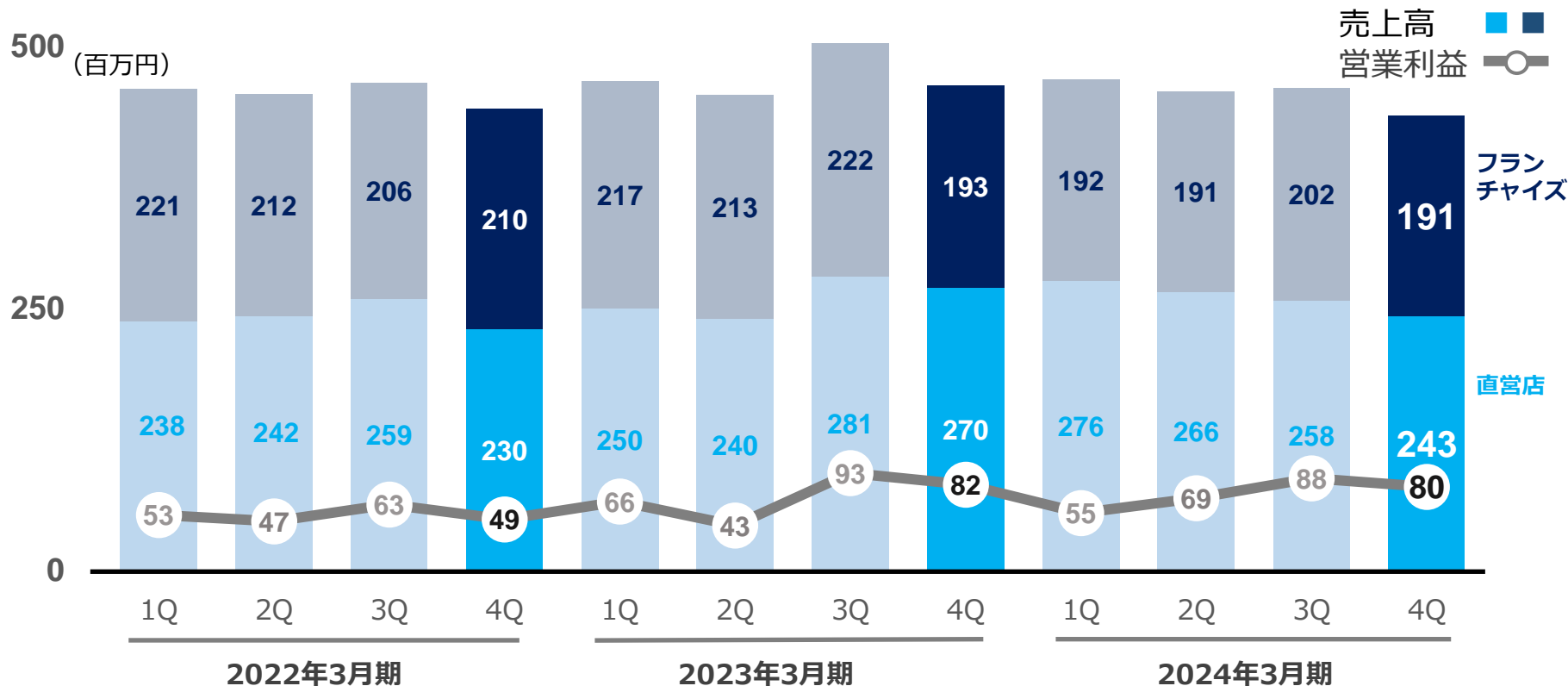


2024年3月期 セグメント別業績

(単位：百万円)	2023/3期			2024/3期			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益※	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	3,136	70.3%	417	3,414	68.8%	421	+277	+3
レコードブック	1,887	42.3%	284	1,820	36.7%	292	▲66	+7
直営店	1,041	23.3%	117	1,043	21.0%	119	+1	+1
FC店	845	18.9%	167	776	15.7%	173	▲68	+5
Webソリューション	233	5.2%	53	337	6.8%	95	+103	+41
シルバーマーケティング	90	2.0%		152	3.1%		+62	
仕事と介護の両立支援	127	2.9%		143	2.9%		+15	
メディカル	15	0.3%		41	0.8%		+25	
アクティブライフ	1,015	22.8%	79	1,256	25.3%	34	+240	▲44
■在宅サービス事業	1,327	29.7%	282	1,544	31.2%	339	+217	+57
通所介護	406	9.1%	64	463	9.3%	113	+56	+50
訪問介護	482	10.8%	132	493	10.0%	147	+10	+15
居宅介護支援	350	7.8%	85	344	7.0%	84	▲5	▲1
施設介護	88	2.0%	0	243	4.9%	▲6	+180	▲6
調整額	-	-	▲603	-	-	▲530	-	+72
合計	4,464	100.0%	96	4,959	100.0%	230	+494	+134

※当期の営業利益には、各セグメントに本社移転に伴う一時的な費用（合計▲27百万円）が配賦されております

売上高 1,820百万円（前期比▲3.5%） 営業利益 292百万円（同+2.6%）



利用者数回復に伴い前期比で営業利益が増加、新規出店に伴う初期費用売上は減少

- ✓ 直営店は、FC加盟店への譲渡や閉店により前期比で7店舗減少するも、1店舗当たりの稼働率が向上し、売上高、営業利益ともに前期比で増加
- ✓ 利用者数増加等により、FC店からのロイヤルティ収入は前期比で増加
当社が設備投資を行い転貸している契約の期間満了に伴うプラン変更の増加により、当社負担の地代家賃・減価償却費等の原価と同額の売上高がともに減少

利用者数 (人)

- 直営店
- フランチャイズ
- 名鉄レコードブック


20,000

15,000

10,000

5,000

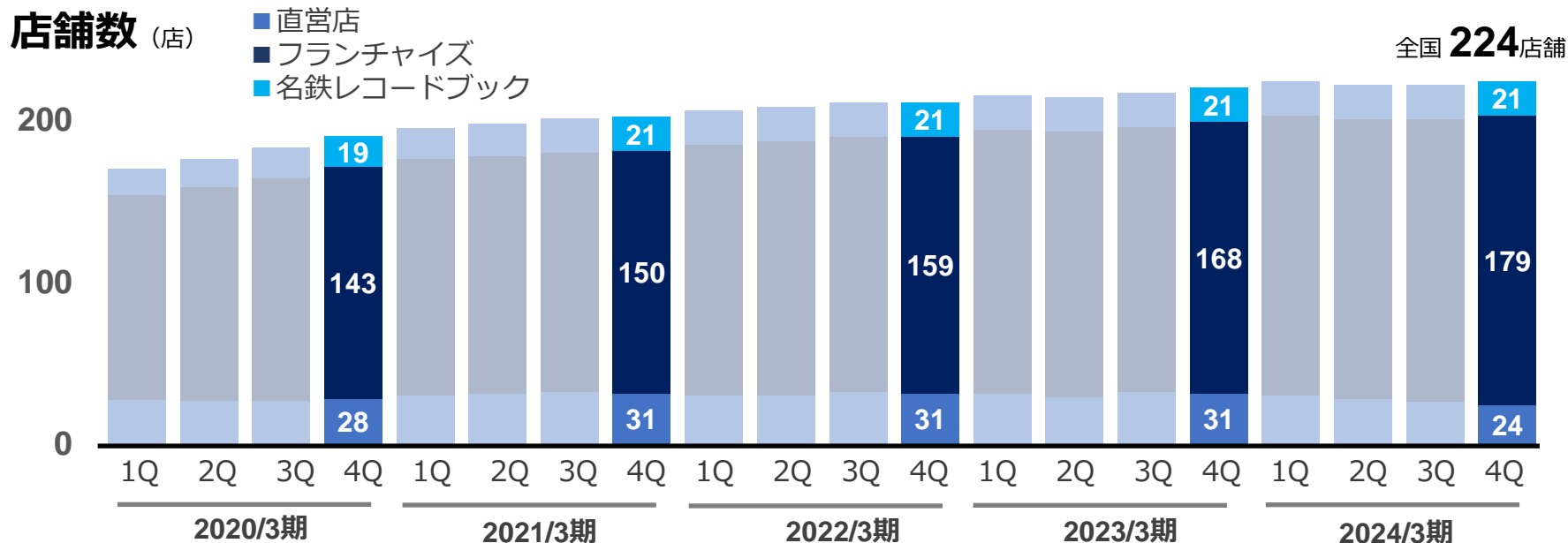
0

 新型コロナウイルスの流行期間

2020/1 2020/3 2021/3 2022/3 2023/3 2024/3

■ 稼働率の上昇に伴い、総利用者数は過去最高を更新

- ✓ 直営店、FC店ともに既存店舗の利用者数が順調に増加し、2024年3月の総利用者数は過去最高を更新
- ✓ 同一のオーナーによる増店の場合、開業初月から稼働率が好調に推移
- ✓ 店舗数増加に伴い、翌期中に月間利用者数が20,000人を超える見通しに



新規	13	8	9	8	9	3	4	2	4	3	3	0	5	3	4	4	5	1	2	4
閉店	0	2	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0	1	4	2	0	1	3	2	2
店舗計	170	176	183	190	195	198	201	202	206	208	211	211	215	214	217	220	224	222	222	224
FC化	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0
直営化	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0

■ 前期比で出店数は減少。物件開発体制を強化し出店数の増加を目指す

- ✓ 社会経済活動の正常化に伴い、新規契約の申込件数は増加傾向、一時的な物件需要の高まりにより、物件選定までの期間が当初想定より長引いている結果、新規出店数は前期比で減少。
物件開発体制を強化し、物件選定の早期化を目指す
- ✓ 翌期の新規出店数は当期と同水準の12店舗前後の開設を見込む

レコードブックのブランド認知度の拡大に向けて、外部への発信を強化

TVCM 23年12月～24年1月 宮城県内の東日本放送、東北放送、宮城テレビでTVCMを放映



レコードブックのステークホルダーである、

- ・ [ご利用者](#)
- ・ [ご家族](#)
- ・ [レコードブックをご利用者に紹介いただくケアマネジャー](#)

それぞれの視点から実際に寄せられる声を基に

レコードブックの魅力を伝える3つのパターンを放映

ケアマネジャー、利用者の認知度が向上し、当該エリアの店舗で**利用者数が増加**
翌期以降、他のエリアでも認知度の拡大に向けた施策を推進予定

TV出演情報

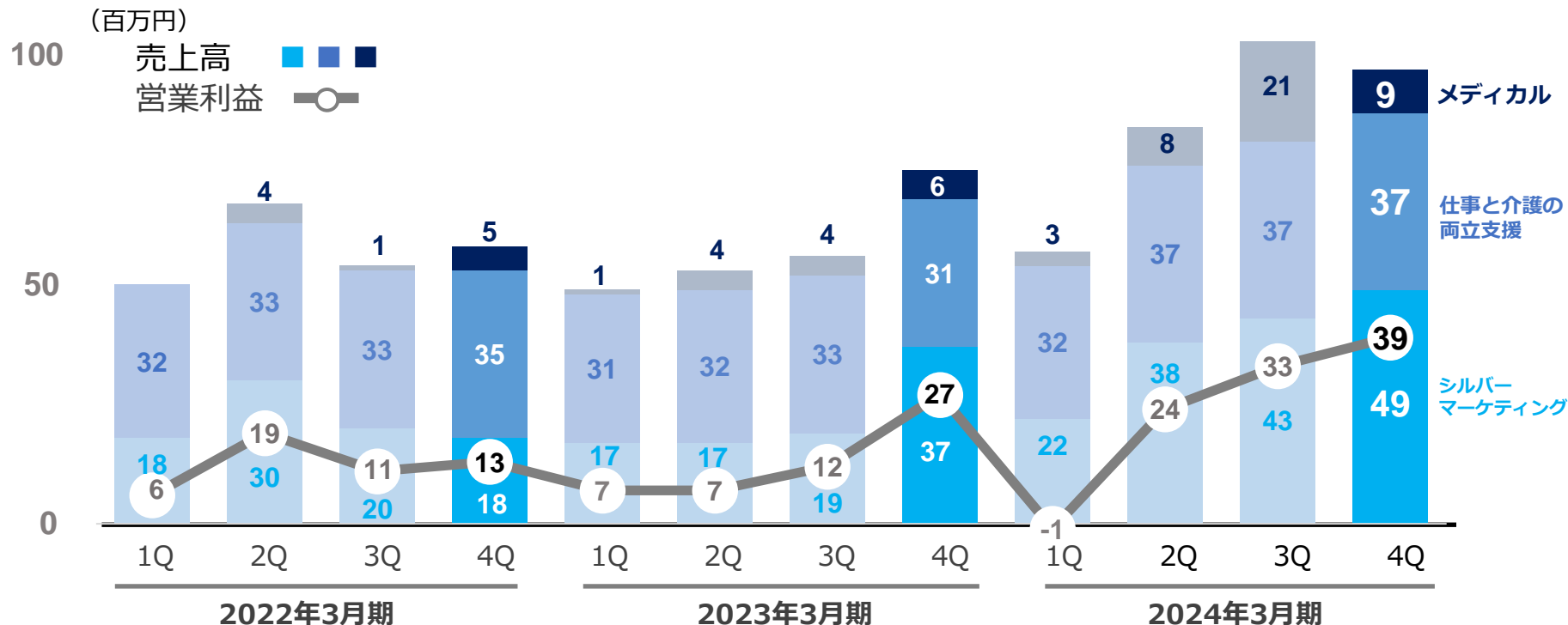
- ✓ 2024年3月 テレビ東京「なないろ日和！」
- ✓ 2024年5月 TBS「カバン持ちさせてください！」

実際に営業中のレコードブック店舗内を撮影いただき、

店舗の明るい雰囲気や運動プログラムの有効性、実際のご利用者様のお声が伝わる内容に

売上高 337百万円 (前期比+44.5%)

営業利益 95百万円 (同+77.1%)



■ シルバーマーケティング支援で大型案件を獲得。前期比で増収増益

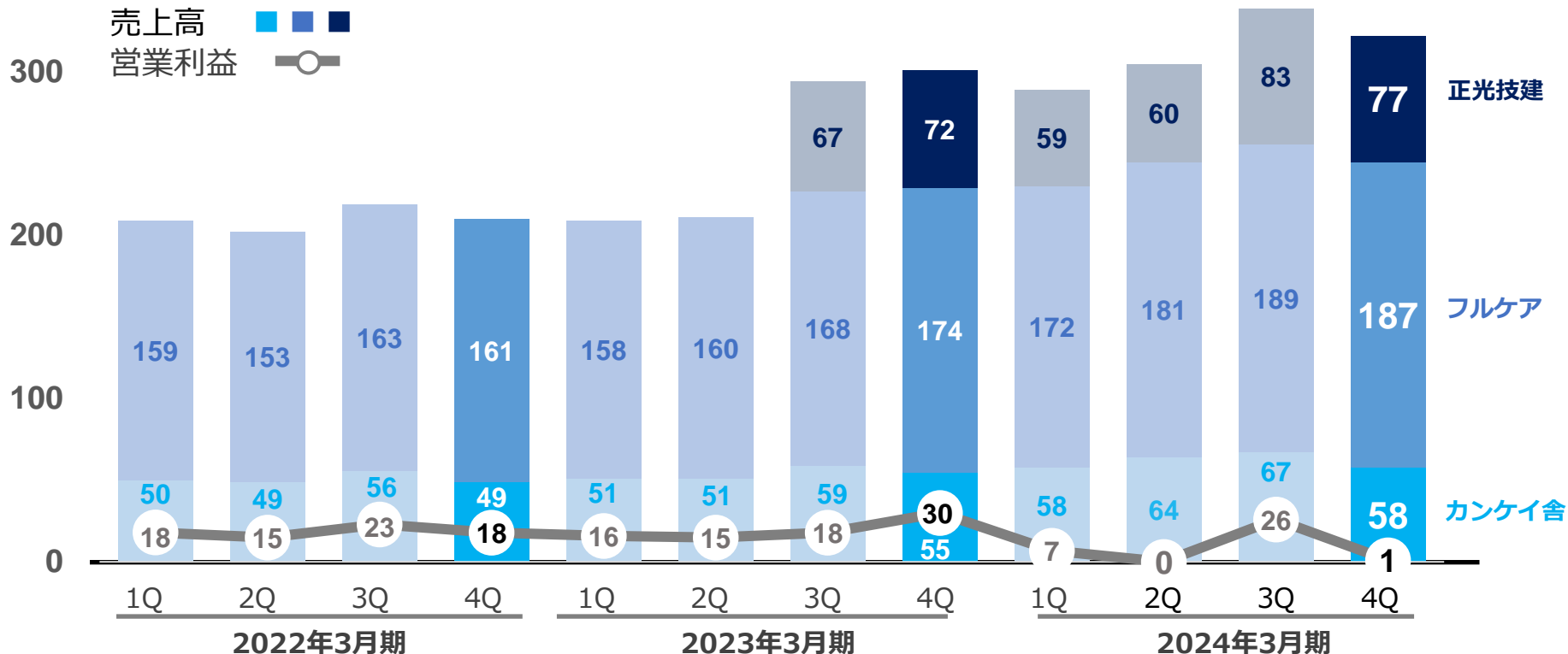
- ✓ シルバーマーケティング支援では、従来のプロモーション支援やマーケティングリサーチに加え、コンサルティングなどの上流工程のサービスを提供し売上が拡大
- ✓ 仕事と介護の両立支援においては、25年4月の育児・介護休業法の改正等、将来的にさらに従業員のニーズが高まることをアピールし、改めて顧客からの高い評価を受け、契約継続率も上昇傾向

仕事と介護の両立支援 当期のサービス提供開始企業

日立グループ計40社 (株)エレケア
丸三証券(株) 東京ガスネットワーク(株)

売上高 1,256百万円 (前期比+23.7%) 営業利益 34百万円 (同▲56.8%)

(百万円)

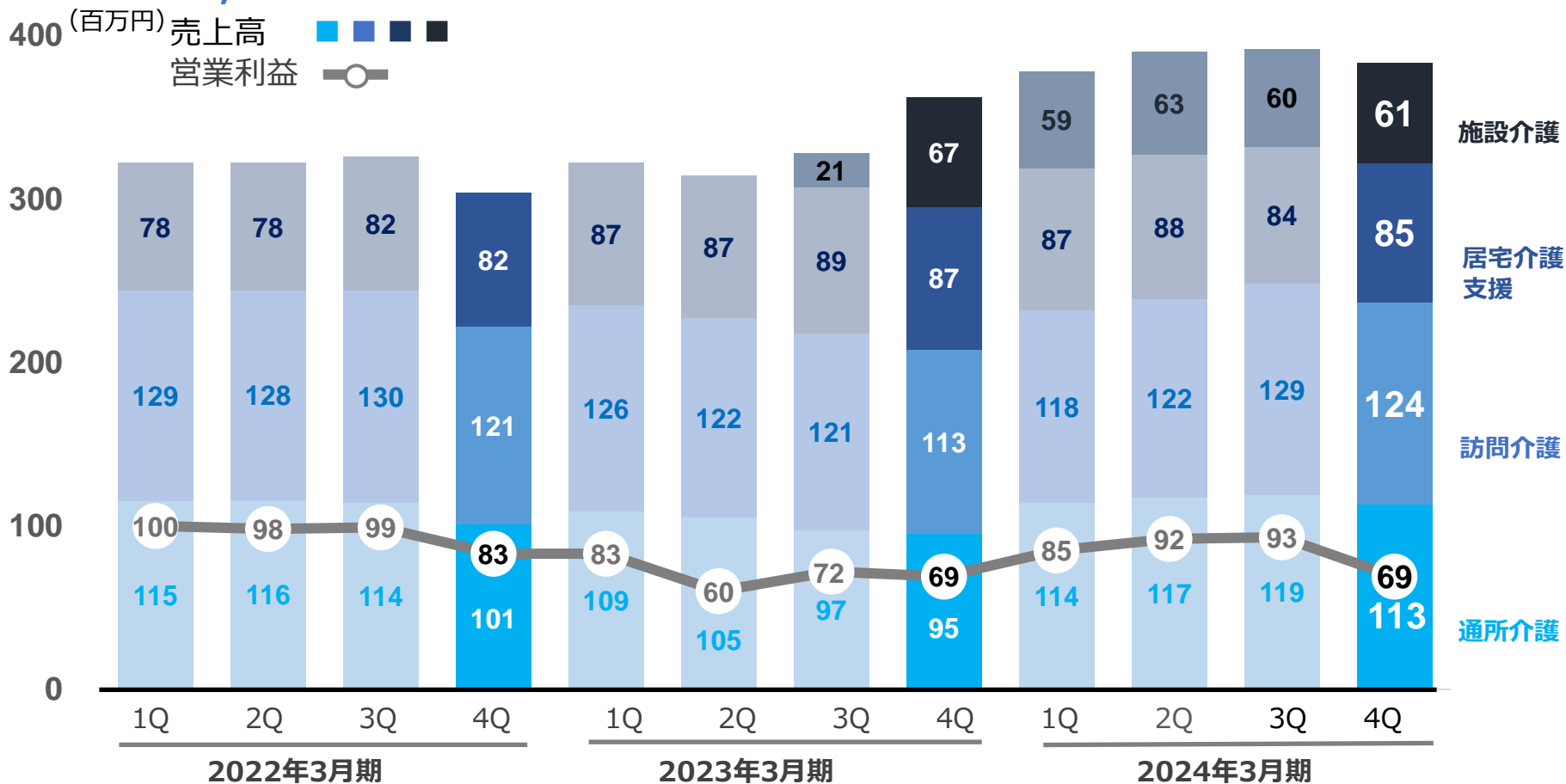


■ 既存の福祉用具貸与は堅調に推移するも住宅リフォーム事業が低迷し、営業利益は減少

- ✓ 既存の福祉用具貸与事業（カンケイ舎、フルケア）は堅調に推移
- ✓ 2022年10月の正光技建の連結により、住宅リフォーム事業の売上高が増加
- ✓ 同事業は、課題となっている受注増加、収入源多角化に向けて、人員配置の最適化や新たな施策を推進し、当期下期の売上高は、前期比、上期比ともに増加傾向に。引き続き、資源価格高騰による原価率上昇の改善策として仕入先の見直し等を推進し、粗利率向上を目指す

売上高 1,544百万円 (前期比+16.4%)

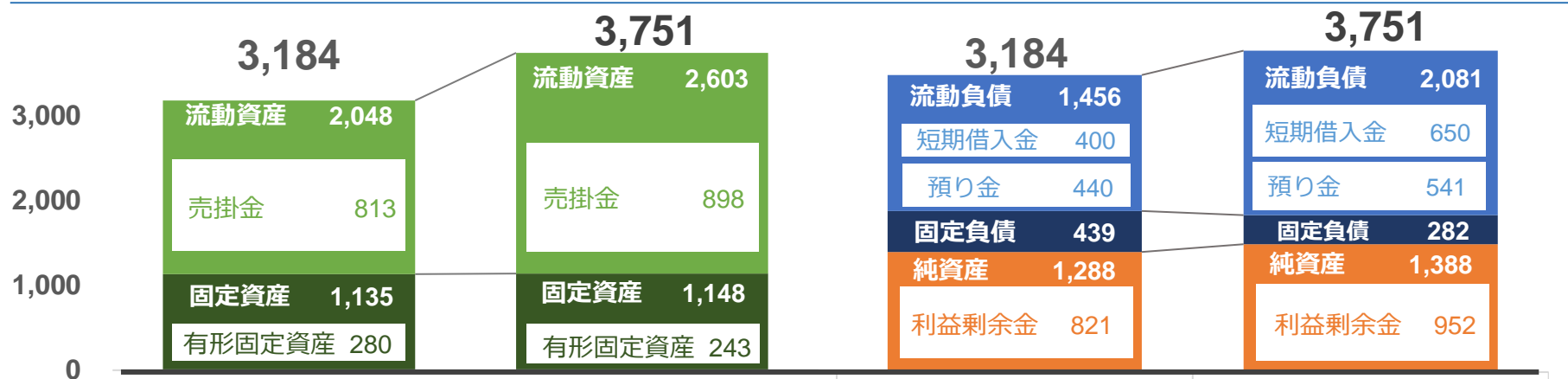
営業利益 339百万円 (同+20.4%)



■ 通所、訪問は堅調に推移、施設介護は新規入居者確保を目指す

- ✓ 通所介護事業は利用者数回復、看護職員増員による新規加算の取得により、前期比で売上高増加
- ✓ 訪問介護事業は単価の高いサービスの提供数が増加したことにより、売上高は増加
- ✓ 施設介護事業は退去者が重なり売上高が減少したため安定的に入居者を確保するための施策を推進

2024年3月期 連結貸借対照表



(単位：百万円) 2023/3期 2024/3期

	2023/3期	2024/3期	増減額
流動資産	2,048	2,603	+554
現金・預金	1,107	1,563	+456 ①
売掛金	813	898	+85 ②
その他	128	140	+12
固定資産	1,135	1,148	+12
有形固定資産	280	243	▲37
無形固定資産	472	563	+91
投資その他資産	383	341	▲42
資産合計	3,184	3,751	+567

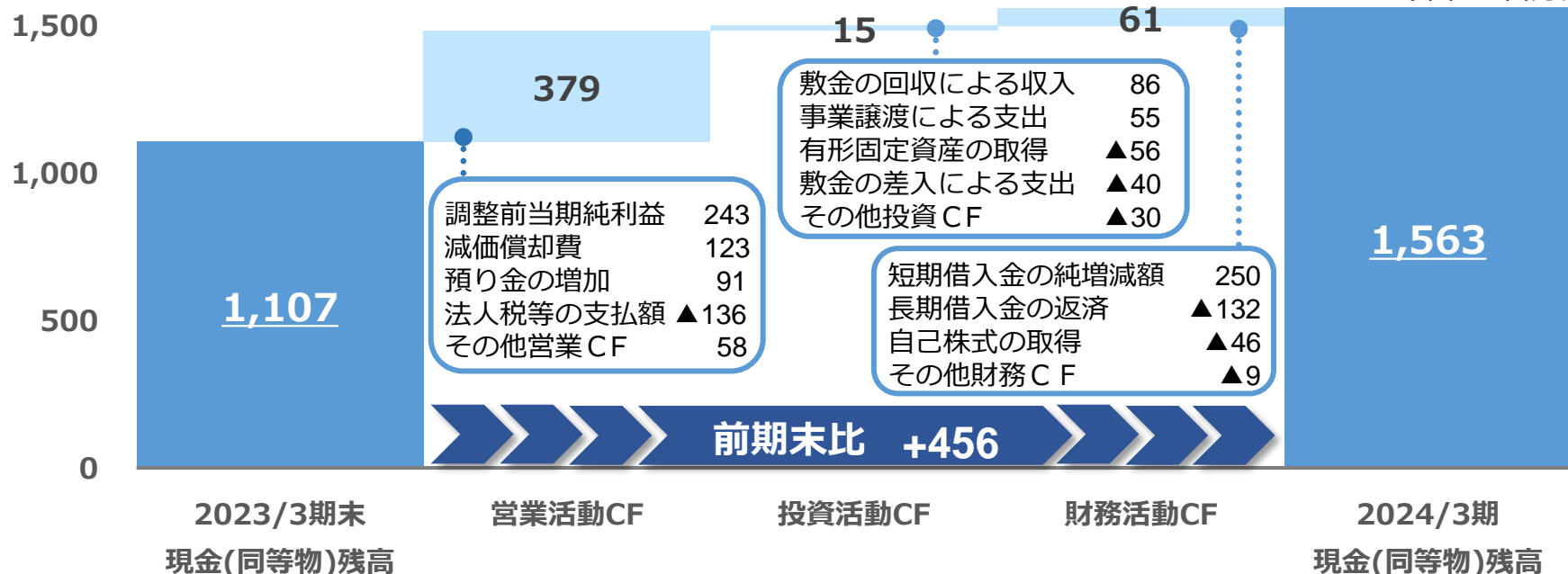
- ① 当面の資金需要に備え調達
- ② 主にレコードブックの利用者数回復に伴う増加
- ③ 自己株式取得 (23年5月) 及び処分 (23年7月) による変動

2023/3期 2024/3期

	2023/3期	2024/3期	増減額
流動負債	1,456	2,081	+624
短期借入金	400	650	+250 ①
預り金	440	541	+101 ②
その他	616	889	+273
固定負債	439	282	▲157
長期借入金	307	168	▲139
その他	131	113	▲18
純資産合計	1,288	1,388	+100
資本金	252	252	-
資本剰余金	237	239	+2
利益剰余金	821	952	+131
自己株式	▲23	▲56	▲33 ③
負債純資産合計	3,184	3,751	+567

※ 2024年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております

(単位：百万円)



	2023/3期	2024/3期	前期比 (増減額)
営業活動CF	302	379	+77
投資活動CF	▲301	15	+316
財務活動CF	▲24	61	+85
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲23	456	+479
現金及び現金同等物の期首残高	1,130	1,107	▲23
現金及び現金同等物の期末残高	1,107	1,563	+456

2025年3月期 通期業績見通し

レコードブック事業や在宅サービス事業の利用者数は順調に増加
収益力の更なる強化により、翌期も各段階利益は二桁増益へ

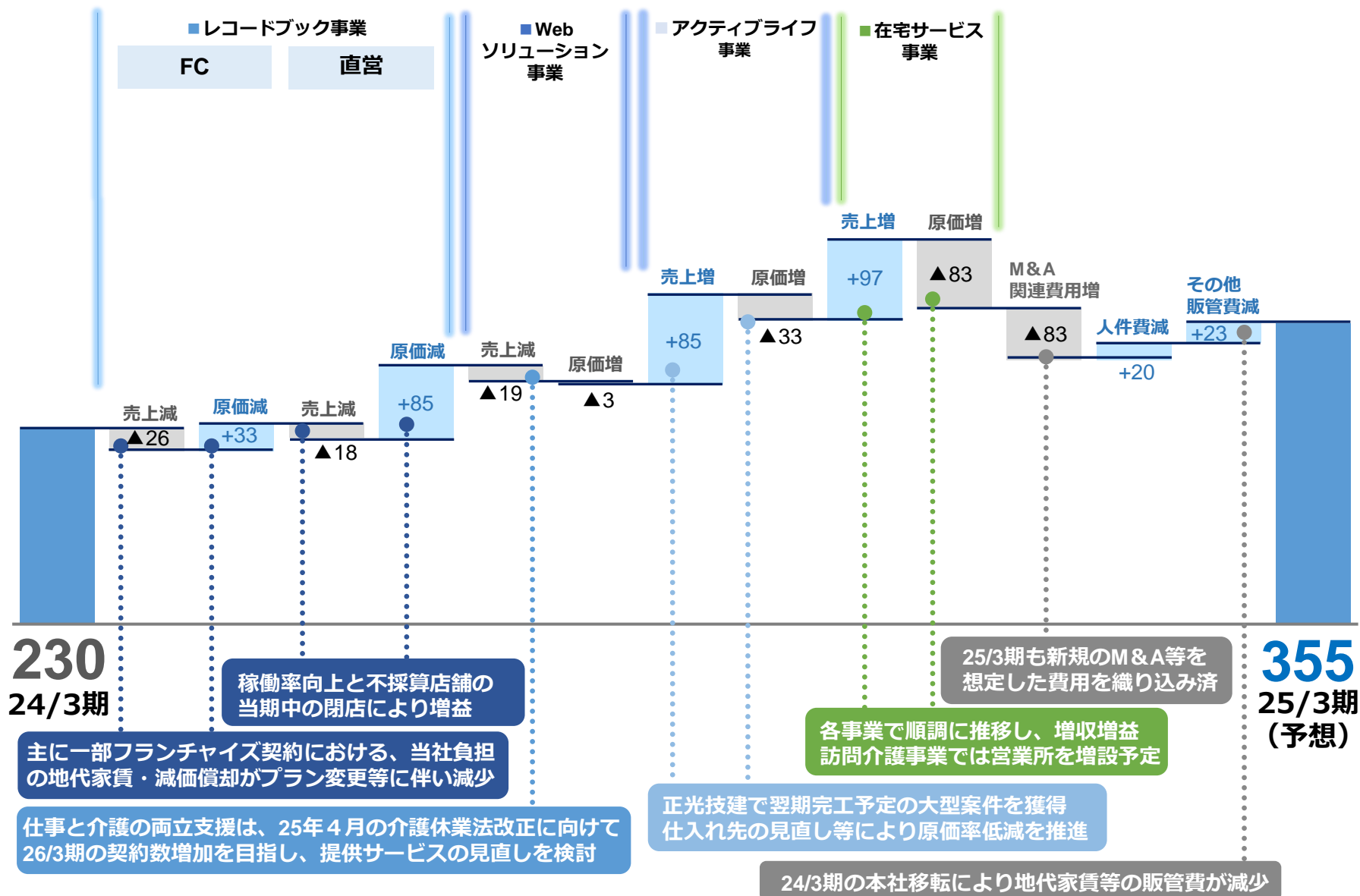
単位：百万円 ()内は利益率	2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	前期比 増減率	主な増減理由
売上高	4,959	5,102	+2.9%	アクティブライフ+108、在宅サービス+97、Web▲18、レコードブック▲44
営業利益	230 (4.6%)	355 (7.0%)	+54.5%	レコードブック+141、アクティブライフ+66、在宅サービス+20、Web▲28、本社▲74
経常利益	271 (5.3%)	350 (6.9%)	+29.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	130 (2.6%)	204 (4.0%)	+56.6%	24/3期は特別損失に本社移転費用18を計上
R O E (%)	9.8	13.8		
E P S (円)	24	38		
1株当たり配当 (円)	5	8		

レコードブック事業、アクティブライフ事業を中心に増益

(単位：百万円)	2024/3期実績			2025/3期見込			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	3,414	68.8%	421	3,460	67.8%	600	+45	+179
レコードブック	1,820	36.7%	292	1,776	34.8%	433	▲44	+141
直営店	1,043	21.0%	118	1,027	20.1%	213	▲16	+94
FC店	776	15.7%	173	749	14.7%	220	▲27	+47
Webソリューション	337	6.8%	95	318	6.2%	66	▲18	▲28
シルバーマーケティング	152	3.1%		126	2.5%		▲25	
仕事と介護の両立支援	143	2.9%		141	2.8%		▲2	
メディカル	41	0.8%		50	1.0%		+8	
アクティブライフ	1,256	25.3%	34	1,365	26.8%	100	+108	+66
■在宅サービス事業	1,544	31.2%	339	1,642	32.2%	359	+97	+20
通所介護	463	9.3%	113	470	9.2%	110	+7	▲3
訪問介護	493	9.9%	147	555	10.9%	158	+62	+11
居宅介護支援	344	7.0%	84	366	7.2%	93	+21	+9
施設介護	243	4.9%	▲6	249	4.9%	▲3	+6	+3
調整額	—	—	▲530	—	—	▲604	—	▲74
合計	4,959	100.0%	230	5,102	100.0%	355	+143	+125

営業利益見通し増減分析

単位：百万円



2024年3月期から配当を開始し、2025年3月期は増配予定

■ 利益配分に関する基本方針

- ✓ 資本の健全性や成長投資とのバランスを検討した上で、配当を基本として株主還元を実施
- ✓ 利益成長を通じ、1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を目指し、配当性向20%を目標

■ 配当予想について

- ✓ 上記の基本方針を踏まえ、2024年3月期期末より配当開始（初配）
- ✓ 2025年3月期期末は増益の予想を踏まえ、3円の増配を計画

基準日	2024年3月31日	2025年3月31日
1株当たり配当金	5.0円	8.0円
配当金総額	26百万円	42百万円
配当性向	20.3%	20.7%
配当原資	利益剰余金	利益剰余金

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email: ir@iif.jp